

会社の概要

商号	Jトラスト株式会社
資本金	536億24百万円
設立	1977年3月
	〒105-0001
本社所在地	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン
電話番号	03-4330-9100(代表)
事業内容	ホールディング業務
連結従業員	3,163名

役員

代表取締役社長 最高執行役員	藤澤 信義
代表取締役専務 執行役員 韓国金融事業担当 兼 広報・IR部門担当	千葉 信育
専務取締役 執行役員 グローバルバンキング推進担当 兼 海外法務担当	足立 伸
常務取締役 執行役員 東南アジア事業担当 兼 企画部門担当	浅野 樹美
常務取締役 執行役員 ホールディング業務担当 兼 グループ統括担当 兼 システム担当	明 珍 徹
取締役 執行役員 経理部長	常 陸 泰 司
取締役 執行役員 財務部長	黒 川 真
取締役 執行役員 経営企画部長 兼 法務部門担当	西 川 幸 宏
取締役 執行役員 経営管理部長	飯 森 義 英
取締役(社外)	五十嵐 紀 男
取締役(社外)	水 田 龍 二
取締役(社外)	金 子 正 憲
常勤監査役	大 西 眞 夫
常勤監査役(社外)	山 根 秀 樹
監査役	井 上 允 人
監査役(社外)	小 島 高 明

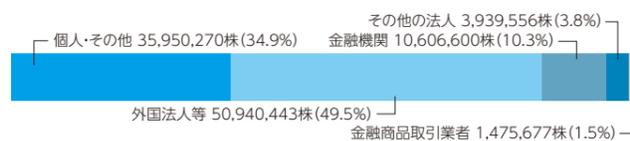
株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	112,510,674株
株主数	14,784名

大株主 (上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
藤澤 信義	23,009,372	22.4
FUJISAWA PTE. LTD.	15,697,872	15.3
TAIYO HANEI FUND, L.P.	4,012,300	3.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	3,769,900	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,427,000	3.3
株式会社西京銀行	2,890,000	2.8
CBNY-ORBITAL SICAV	2,391,615	2.3
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,135,236	2.1
TAIYO FUND, L.P.	2,134,600	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,879,000	1.8

所有者別株式分布状況



(注) 持株比率ならびに所有者別株式分布状況は、自己株式数(9,598,128株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイト(http://www.jt-corp.co.jp/)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次いたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

JトラストIRアプリを利用してIR情報を素早く入手!



App Storeからのダウンロード方法

- iPhone/iPadの「App Store」で【Jトラスト】と検索してください。
- QRコードから直接読み込んでください。

Google Playからのダウンロード方法

- Android OS端末の「Google Play」で【Jトラスト】と検索してください。
- QRコードから直接読み込んでください。



J TRUST LETTER

第41期 中間株主通信

2016年4月1日 ~ 2016年9月30日

証券コード: 8508

CLOSE UP! インドネシアの経済発展に貢献



株主の皆様へ

Jトラスト銀行インドネシアの負の遺産を一掃し、再生を加速することにより、当社グループの持続的な利益拡大を目指します



代表取締役社長 藤澤 信義

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期中間期は39億円の営業損失となりましたが、その主な要因はJトラスト銀行インドネシア(BJI)の再生を加速するために財務体質の健全化を図ったことです。全ての債権の洗い替えを行い、主にBJIが当社傘下に入る前に実行したローンに対し貸倒引当金46億円の積み増しを行いました。また、今期中に不採算店舗を閉鎖するとともに従業員を約1,500人から700人へと削減する予定です。この大規模なリストラが完了しますと、月間で約1億円の固定費削減となり、経常的な黒字化が期待できます。

さらに、7月に営業を開始したGroup Lease Finance Indonesia(GLFI)の業績が、飛躍的に拡大していく見込みであり、GLFIからの持分利益に加え、ファイナンスを担うBJIでも優良な融資残高の増加による利益拡大が期待できます。

また、2017年3月期通期の営業利益予想を112億円から42億円に減額修正しましたが、中長期的な成長性についてはまったく心配しておりません。好調を持続する国内金融事業をベース事業として、韓国・東南アジア金融事業をけん引役として、持続的な利益拡大を目指していきますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

活動ハイライト

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
			東証1部指定の申請を検討開始	西京銀行のインドネシアピア建外貨預金の販売に関して提携	Group Lease Finance Indonesiaが業務開始 (⇒詳細は中面へ)	韓国のDH貯蓄銀行の株式取得(子会社化)を決議
				9,188,300株の自社株買いを実施 (⇒詳細は中面へ)		モンゴルのファイナンス事業会社 Capital Continent Investment NBFIIの株式取得(子会社化)を決議

持続的な成長に向けて 事業基盤を拡充



CLOSE UP!

農業の効率化を通じてインドネシアの経済発展に貢献しています。

JトラストグループがGroup Lease (GL、タイ証券取引所上場)グループと共同で設立したGroup Lease Finance Indonesia (GLFI)は、2016年7月にデジタルファイナンス事業といわれる独自の割賦販売金融事業を開始。インドネシア各地における農機具へのニーズにお応えし、農業の効率化のお手伝いをしています。

GLFI×GL×BJIのシナジー効果

GLFIはGLの販売金融ノウハウを活用します。また、Jトラスト銀行インドネシア (BJI)はGLFIに資金を融資し、貸出残高の増加と貸出資産の優良化を図ります。



第40期の株主様アンケートの結果をお知らせします。

第40期の株主様アンケートにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。ここに、1,062名の株主様からご回答いただいたご意見の一部をご紹介します。今後も決算情報や経営方針・戦略などを株主の皆様に分かりやすくお伝えし、当社に対するご理解を深めていただけるよう努めてまいります。

当社のIR活動や情報開示で特によかったもの

- ウェブサイトのさらなる充実 **27%**
- 月次データの開示 **18%**
- 当社記事が各種メディアで紹介されたことをウェブサイトでお知らせ **16%**
- 決算説明会資料の充実 **16%**
- 決算説明会回数の増加 **12%**
- 決算説明会などのイベントの動画配信 **7%**
- 情報開示の日英同時リリース **4%**

最も多くの回答者がウェブサイトのさらなる充実を高く評価してくださいました。今後もとくに注力し、内容を充実させるとともに、より分かりやすい情報発信を目指します。

決算説明会の動画の視聴状況

- 必ず視聴 **7%**
- 時々視聴 **14%**
- 視聴しない **22%**
- 動画配信を知らなかった **57%**

回答者の6割近くが動画配信をご存じではありませんでした。決算説明会などにつきましては当社ウェブサイトから、動画(資料付き)を視聴いただければ幸いです。

株主様からのご意見・ご要望 (自由記述)

- 株価への不満など **27%**
- 株主還元と株価対策 **21%**
- 応援メッセージ **16%**
- 業績 **14%**
- 海外事業 **6%**
- IR活動 **4%**
- その他 **12%**

自由記述欄では、株価へのご不満、株主還元と株価対策を期待する声、応援メッセージなどをお寄せいただきました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

株主還元策について

当社は、株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置づけています。資本効率の向上を通じた利益還元を図っており、2015年8月から2016年8月までに累計135億円の自社株買いを実施しています。また、配当金につきましては、2017年3月期は1株当たり中間6円、期末6円の年間合計12円と計画しており、10期連続で前期以上(同額か増配)の安定配当となる見込みです。

自社株買いの実施状況

2017年3月期(2016年11月現在)

9,188,300株 72億78百万円

2016年3月期

6,250,000株 62億64百万円



業績ハイライト

営業収益は前年同期比6%増収と着実に増加しました。しかし、タイ国王の容体悪化報道を受け、保有しているGL(タイ証券取引所上場)の転換社債について損失が発生したほか、BJIにおいて財務健全化のため貸倒引当金を積み増したことから、39億円の営業損失。また、為替差損とBJIにおける事業構造改善引当金繰入額の計上等により、76億円の親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

